

朗読劇

この子たちの夏

1945・ヒロシマ ナガサキ

●出演者(五十音順)
大森暁美
長内美那子
高田敏江
柳川慶林
山田昌

構成・演出 木村光一
装置 石井強司
照明 鶴飼守
音楽 池辺晋二郎

効果 深川定次
舞台監督 稲葉対介
制作担当 渡辺江美・和泉将朗



死別がせまり、わたしも思わず、お母ちゃんも「しょに行くからね」と申しましたが、あとから「いや、と申しました。お母ちゃんにあえたから」、よとも申しました。

ゆめたろうプラザ（武豊町民会館）
輝きホール 全席指定

2007年
7月20日金
19:00開演(18:30開場)

【前売】	一般 2,800円 会員 2,500円(一人2枚まで) 学生 1,500円(3歳以上)
【当日】	一般・会員 3,000円 学生 1,800円

NPO主催:NPOたけとよ・武豊町

朗読劇

この子たちの夏

1945・ヒロシマ・ナガサキ

また夏が来ました。女優たちによる地人会のこの「朗読劇」が全国各地を巡演する季節——二十三年めの夏です。そして母親たちの手記、手紙、詩などによつて構成された一時間半の舞台です。

声なきものへ

なんぼうにも

むごいよ
みんなにもうわすれられて

埋もれてしまつた
ほとけたち

ほつたらかしの
ほとけたち

なんぼうにも

むごいよ
月のかたぶくばんには

ゆうれいになつてやつてこい
母さんとはなそよう

うしろむきになつてはなそようよ

山田數子

出演者（五十音順）



● 山田昌

● 山口果林

● 柳川慶子

● 高田敏江

● 長内美那子

● 大森暁美

～寄せられた感想文より～

● 戦争はイヤです。お母さんが泣くのもイヤです。（十一才・女子）

● かくへいきがきえても、人を殺す武器がきえても、人は人殺しをやめないでしょう。

● あのころの子どもたちほとんどが生きなかつたか、どんなにおなかいっぽいごはんを食べたかったか。今夜、夕食にまつ白いごはんが出ました。いつもならふりかけをかけて食べるのですが、今日はまつ白のまましつかりかみしめて食べました。（十三才・女子）

● 外国で起つている紛争の映像は、テレビのブラウン管を通って、私たちもどんなことになつているか見かけますが、その戦争の被害を受けている人々の心からの声を聞き取ることができません。「この子たちの夏」の朗読劇を聞いて、当時の人々の苦労した生活や、原爆で被害を受けた時の気持ちなんかがひしひしと伝わってきました。（十四才・男子）

● 自分が苦しくてたまらないはずなのに、死ぬ直前まで母親に自分を産んでくれたことへの感謝をつたえていた女の子が出てきました。何故このような優しい心を持つことができる人間が、一方では残酷なことをしているのか。何故自分と違う意見を持つ者がいるということを理解しようとしたのか。沢山の疑問がでてきました。（十五才・女子）

● 白いご飯が食べられること、何不自由なく手足を動かせること、愛する人がそばにいること、この平和な世の中に自分が生きていること。それすべてを「あたり前」だと思つていた自分が恥ずかしい。（十七才・男子）

● 自分の母が、父が、自分より何倍も大きく、誰よりも好きだったという気持ちがよみがえり、絶対失いたくないと思いました。（十七才・女子）

【チケット販売・問合せ】

■ ゆめたろうプラザ（武豊町民会館）

〒470-2555 愛知県知多郡武豊町字大門田 11 番地 TEL 0569-74-1211
休館日 / 月曜日（祝祭日の場合は次の平日）受付時間 / 9:00 ~ 21:00

■ チケットぴあ TEL: 0570-02-9999 (P コード: 376-881) 一般販売のみ

【チケット発売日】

会員 4月 21 日（土）～ 一般 4月 28 日（土）～
(電話予約は翌日からゆめたろうプラザにて)

※ 町内送迎車あり（要予約・料金 100 円）名鉄知多武豊駅・JR 武豊駅も停まります
※ 託児あり 1 歳半以上（要予約・1 名 500 円 10 名まで）受付 4 月 21 日（土）～
※ 車椅子をご利用の方は事前にご予約ください

MAP

